

胸躍る新入園・入学

町内の幼児センター、小、中学校で新入学の春を迎えました。幼児センターは0歳から5歳まで61人の新しいお友だちが入園。小学校は4校合わせて75人(昨年より5人増)、中学校70人(同13人減)の元気な声が新学期の校舎に響きました。

笑顔で「ぶんぶんぶん♪」(幼児センター)



4月6日、幼児センター(伊藤和代園長)で入園式を行い、248人の園児が勢ぞろい(昨年より1人減)。伊藤園長は「毎日楽しく遊びましょう」

と歓迎。

5歳児の高石美空(みく)ちゃん、若松蓮君も「これからいっしょにあそびましょう」とおでむかえ。みんな得手遊び『てをたたきましよう』をしました。

◇ 町内の小、中学校はそろって4月5日に入学式を行いました。

東川小学校(岸政継校長、366人)

では昨年より4人多い62人が入学。岸校長は「朝ご飯をしっかりと食べ、『行つてきます』『おはよう

ございます』と元気にあいさつできる「元気のタネ」、勉強や友達との遊びなど何事もやる気を出して頑張れる

「やる気のタネ」、してはいけないことほしくない、ワガママ虫に負けないようにする。勇気のタネ、心をかけて、卒業するときに立派な花を咲かせてくれることを楽しみにしています。」と迎え、児童を代表して二年生の二瓶結登(ゆいと)君も新入生を歓迎しました。

教室では机の上の教科書や交通安全の黄色いヘルメットに興味津々。初めての校舎や先生にもわくわくしていました。



教科書やヘルメットを前に友達と笑顔(東川小学校)

◇ 東川第一小学校は5人、第二小学校は4人、第三小学校では4人が新入生として迎えられ、新しいスタートを切りました。

東川中学校(安達啓一校長)では昨年より13人少ない70人が入学しました。真新しい紺色のブレザーに身を包み気持ちも新たに。新しい環境に緊張と期待の眼差しで体育館に入場しました。担任の呼び上げにこたえて一人ひとり先輩にあいさつし、中学生になった実感をかみしめていました。



新入生代表あいさつ(金子昌勲君、東川中学校)